

ふれあいほっと
みやもとらん

題字

三水小学校1年

2023

8/31

No.209

FUREAI POKETTO



夏休み自由研究教室

8月5日(土)メーラプラザにて自由研究教室が行われ、町内の多くの小学生が参加してくれました。

テーマは「スライム」。前半は遊びながら作り方や状態の変化などを学ぶ実験を楽しみ、後半は学んだ知識を活かして「スライム時計」を作りました。教室では「わあすごい!」「ベタベタ〜」「おもしろーい」など子どもたちの元気な声が飛び交いました。

●●●主な記事●●●

- P2 いいつなふれあい広場開催のご報告
- P3 日赤活動資金報告
オレンジパートナー養成講座のご案内
- P4 結婚相談所よりお知らせ
- P5 生活福祉資金「特例」貸付に関するお知らせ
- P6 事業所紹介
- P7 今後の予定ほか
- P8 クイズコーナー、りんごのつぶやき
新ささらばさら(4コママンガ)



第16回 いいつなふれあい広場を開催しました



令和5年8月11日（金）に牟礼駅前夏祭りの日に併せ、初めてメーラプラザを会場にふれあい広場を開催しました。

このイベントは、地域の皆さんが実行委員として企画・運営をし、子どもからお年寄り、障がいのある方など、誰もが参加でき、交流できる福祉のおまつりです。

今年は、「福祉」「防災」「リサイクル」「エコ」等について知るきっかけになるよう、開催に向け実行委員の皆さんと準備を進めてまいりました。

当日は35℃以上の暑さでしたが、450名を超える方に来場いただきました。

オープニングの北部高校生の迫力ある書道パフォーマンスから始まり、チョークアートや絵手紙の体験、協賛企業による抽選会など盛りだくさんの内容で「暑かったけど、楽しかった」「かき氷が冷たくておいしかった」などの声が聞かれました。

アルミ缶リサイクルは100名以上にお持ちいただき、3621缶集まりました。この収益は、町内の生活困窮世帯、子育て世帯及び被災地への支援に活用いたします。

来場者と実行委員が笑顔で楽しく交流している姿を見て、今後も地域の皆さんが交流する機会を大切にしていきたいと感じました。

皆さまのご協力、本当にありがとうございました。



北部高校生の迫力ある書が完成！



抽選会は480品以上あった景品が品切れに



町の電気自動車の電源を使いかき氷を提供



大勢の方が遊びに来てくれました

日本赤十字社（日赤）活動資金のご協力ありがとうございました

令和5年度実績

総額 1,529,124円

日本赤十字社が行う「被災地への医療救護班の派遣や救援物資の配布を行う災害救護活動」「災害や紛争で苦しむ人々への国際救援活動」「救急法や幼児安全法等の講習会の開催」などの活動は、皆様より毎年納めていただいている活動資金を財源としています。

◆詳しくは、ホームページをご覧ください↓

日本赤十字社長野県支部 <http://www.nagano.jrc.or.jp/>

(単位：円)

地区名	金額	地区名	金額
平出	64,100	小玉	39,500
番匠	15,500	西黒川	40,500
福井団地	255,726	東黒川	59,000
福井	26,000	袖之山	26,000
四ツ屋	33,500	地藏久保	8,000
坂上	46,000	坂口	7,000
栄町	42,500	高坂	23,000
牟礼	77,000	夏川	17,000

地区名	金額	地区名	金額
野村上	45,237	若宮	7,500
北川	13,000	堀越	3,500
上村	9,500	日向	2,000
東高原	20,500	谷	23,500
横手	12,500	川西	51,200
中宿	18,500	川北西部	16,000
古町	20,000	川北東部	23,500
普光寺西部	44,561	原一	14,500
普光寺中部	30,000	原二	23,000
普光寺東部	63,000	原三	24,500
深沢	19,000	川谷	15,500
寺村	21,500	上赤塩	30,600
町	20,500	毛野	42,000
中峯	20,000	下赤塩	14,500
田中	15,500	東柏原	19,000
中村	15,500	奈良本	15,000
御所ノ入	23,500	扇平	10,700

認知症オレンジパートナー養成講座 受講生募集！！

「オレンジパートナー」は認知症の方やそのご家族のために活動するボランティアの事です。あなたもボランティアの仲間になりませんか？

【日程・内容】

	日時	内容
1 日目	9月21日(木) 9:30~12:00	○行政における認知症施策の紹介 ○認知症サポーター養成講座(認知症を理解する等) ○オレンジカフェの紹介
2 日目	10月5日(木) 10:00~16:30	○認知症サポーターステップアップ講座 (認知症の理解を深める/地域でのボランティア活動とは等) ○オレンジパートナー登録手続き

【対象】 飯綱町在住で、2日間の講座を受講できる方
認知症に関連するボランティア活動に興味のある方

【会場】 メーラプラザ ホール

【定員】 10名

【参加費】 1日目無料、2日目昼食代500円

【申込締切】 令和5年9月6日(水) ※定員になり次第、締め切ります。

【申込先】 飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課 電話 253-1001



ながの結婚マッチングシステム(NAGANO ai MATCH) 登録者募集！

飯綱町結婚相談所に登録をして、ながの結婚マッチングシステム（NAGANO ai MATCH）を始めてみませんか？

■登録料 2年間 10,000円

■必ず、飯綱町結婚相談所への登録が必要です

登録に必要な物

①写真付きの身分証（運転免許証・パスポートなど）

②戸籍謄（抄）本または独身証明書 ※本籍地の市町村が3か月以内に発行したもの

③プロフィール用の写真データ（スマートフォン等に保存したもの）

※本人の上半身が写ったもの ※3か月以内に撮影されたもの

飯綱町結婚相談所キャンペーン実施

■実施期間

令和5年9月1日～令和5年10月31日まで

■対象者

飯綱町在住、飯綱町で勤務をしている方で新規登録者
（年齢制限なし）

■補助

登録料 5,000円



信濃町・小川村・飯綱町独身者交流会に参加しませんか？

信濃町、小川村、飯綱町の独身者を対象に、長野市に新しくできたシャトレゼホテルでランチバイキング交流会を企画しました。

3町村での交流会は初めてです。参加者のみなさんと、美味しいものを食べながら楽しい時間を過ごしませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。

期 日： 令和5年10月15日（日）

定 員： 男性10名 女性10名（先着順）

参加費： 2,500円（昼食代）

日 程： 9：30 TOiGO（生涯学習センター）3階「第6学習室」集合
…交流会…

11：00 シャトレゼホテル長野 展望レストラン
…ランチバイキング…

12：30 長野東口公園 …自由時間…

13：00 解散

※申込み〆切り、令和5年9月29日（金）まで



お問合せ先：飯綱町結婚相談所「ハピサポ♥いいづな」 電話 080-1345-6034

生活福祉資金「特例」貸付に関するお知らせ

【償還(返済)および免除について】

緊急小口資金等特例貸付については、住民税非課税（均等割）世帯を対象とした償還免除の制度が国により設けられています。

償還（返済猶予）や免除に関するお問い合わせは「生活福祉資金特例貸付管理事務センター」にて対応しております。ご不明な点等お問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

生活福祉資金特例貸付管理事務センター

TEL：026-217-5681（受付時間：平日9時～17時）

長野県長野市中御所岡田 131 番地 10 長野県中小企業会館 1F

【緊急小口資金等特例貸付償還金に対する補助】

長野県独自の事業で、国の償還免除の対象とならない場合において、一定の要件にあてはまる場合は、長野県による償還金一部助成を受けることが可能です。

国による償還免除の対象とならない場合は、活用をご検討ください。

対象者の要件や申請方法など、お問い合わせは下記までお願いいたします。

長野県庁健康福祉部地域福祉課 自立支援・援護係

TEL：026-235-7094 長野市大字南長野字幅下 692-2

.....

「通常の」生活福祉資金貸付事業のご案内

「通常の」生活福祉資金貸付は随時ご相談をお受けしています。

低所得世帯や高齢者世帯、障がい者世帯の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉および社会参加の促進を図ることを目的としております。

資金は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型資金」の4種類あります。貸付けには資金の種類ごとに条件や基準などを満たすことが必要です。

詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

飯綱町社会福祉協議会 地域福祉課（担当 佐藤）

TEL：026-253-1001 飯綱町普光寺 920 メーラプラザ内

グループホームわが家

暑さ寒さも彼岸まで…とはよく言ったものですが、今年の夏はいかがでしたでしょうか？

わが家ではコロナ禍を乗り越え、今年から車でのお出かけや『イベント昼食』なるものを始めました。「何それ？」と声が聴こえたような…（汗）

季節にあわせた家庭ならではの料理をご利用者の皆さんと一緒に作ります。自分たちで丸めたり包んだりしたものですから、形はバラバラでも美味しいです♡たまにつまみ喰いもしたりして…!?

皆さんと同じように、この数年間我慢していた当たり前の些細な日常の喜びを、今取り戻そうと奮闘中です！

誰もが毎日の暮らしがあって、毎日楽しく笑って過ごしたいのですよね。



ご利用者と職員の共同作品
わが家のマスコット

グループホームわが家
(電話) 257-1077

あおぞらスケッチ

社会福祉法人 林檎の里 あおぞら

先日、ご利用者の散髪のため、お出掛けする機会がありました。飯綱町内の美容室を定期的にご利用している方が何人かおられますが、感染症の影響でしばらく期間が空き、久しぶりの利用となりました。美容室を利用できなかった期間は、出張散髪業者に施設内にて散髪をしてもらいましたが、やはり車に乗って出掛ける機会があると、ご利用者の皆さんの笑顔が増えたなと感じます。また、顔なじみのお店の方にも声を掛けてもらい

嬉しそうにしていたり、施設に戻った後も「髪切ってきたよ～」と支援員に話す姿も見られ、こちらまで嬉しくなります。

まだまだ感染症への気が抜けませんが、しっかり対策をしながら少しずつ外出の機会を増やしていければと思います。



～認知症の話をします～

飯綱町の皆さん、こんにちは、飯綱町の認知症地域支援推進員です。

こういう名前の役割の人達が2018年から全国全ての市町村に配置されています。これから不定期ですが飯綱町の認知症のこと、いろいろ伝えていきたいと思います。

毎年9月は世界アルツハイマー月間、 9月21日は世界アルツハイマーデーです。

1994年に「国際アルツハイマー病協会」と「世界保健機関（WHO）」が共同で制定しました。日本でも全国各地で様々な活動が行われます。

飯綱町では役場やメーラプラザに認知症コーナーができたり、保健福祉課の職員が、認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色を使って、いつもとほんの少し違う姿で認知症の啓発活動に取り組みます。

皆さんも認知症を「我がこと」として、考えてみる期間にしてみませんか。

認知症についてのご相談は

飯綱町地域包括支援センターTEL：253-2485 または役場の中に窓口がありますので、お気軽にご相談ください。

皆さん、今後ともよろしく願いいたします。

飯綱町認知症地域支援推進員

寄付欄

東洋羽毛北信販売(株)長野営業所 様
羽毛クッション18個、時計1台
MARUYAMA 農園 様 りんごジュース12本
二本松 和子 様 タオル80枚
匿名様 10,000円
匿名様 リハビリテーションパンツ
匿名様 下着、靴下、タオル、マスク他
匿名様 シルバーカー、杖、紙パンツ
匿名様 食品(9,620円分)

地域福祉の推進に活用いたします。
ありがとうございました。

今後の予定

9月	4日(月)	スポーツウェルネス吹矢
	6日(水)	スロージョギング
	7日(木)	ナイトウォーキング
	9日(土)	てんぐカフェ
	11日(月)	オレンジカフェ
	14日(木)	スロージョギング
		ナイトウォーキング
	18日(月)	スポーツウェルネス吹矢
	20日(水)	スロージョギング
	21日(木)	ナイトウォーキング
	23日(土)	てんぐカフェ
	28日(木)	スロージョギング
ナイトウォーキング		



社協ってなんだ？
気になる方は右記より簡単に
アクセスできます。ぜひご覧ください。

飯綱町社協HP



クイズコーナー

ふれあいぽけっと8月号を読んで答えを見つけよう！

正解者の中から最大5名様に素敵なお楽しみプレゼント♪

- ① グループホームわが家で今年から始めたことはなに？
ヒント：6ページを見てみよう！
- ② 9月21日は何の日？
ヒント：7ページを見てみよう！

景品

景品は菊寿しとCoCo Cafeで使えるメーラプラザ共通500円券です。当選者の発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。ぜひご応募ください。

応募方法

ハガキ表

389-1206

飯綱町普光寺920

飯綱町社会福祉協議会

「クイズコーナー」

ハガキ裏

- ・ 答え
- ・ 住所
- ・ 名前
- ・ 電話番号
- ・ 今月号の感想など

社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております(町内在住の方に限る)。締切りは、9月22日(金)【消印有効】です。皆様からのご応募お待ちしております。

新 ぞくぞく (162)



りんごのつぶやき

関東大震災から百年となる今年も、飯綱町内各地区で避難訓練が行われる。しかしどんな災害でも避難しない人はいるもので、避難って簡単なようで難しい。なぜ避難しないのか? どうしたらみんなが避難するようになるか?

長野市長沼の民生委員さんから聞いた話を思い出した。四年前の東日本台風時、避難指示が出たので、この方も地区の高齢者世帯に電話をかけ避難を呼びかけたが、「この程度なら大丈夫、避難は不要だ」と高をくくり避難しない人、「みんなに迷惑を掛けるから申し訳ない」「避難所は居心地が悪いから嫌だ」と言って避難しない人が何人もいたという。住民それぞれ言い分もあり、一方的な呼びかけだけでは避難につながらない、とこの方は感じたようだ。

東日本大震災前から岩手県釜石市で防災教育に取り組んできた、当時群馬大学の片田敏孝教授の講演も思い出した。あの震災直後の大津波警報で、釜石の子供らが「大変だ! 高台へ逃げろ!」と慌ただしく一斉に避難する姿を見て、どうしたらいいか迷っていた地域の大人たちも「子供が逃げるなら自分たちも逃げなきゃ」と、つられて一緒に避難し助かった例があった、と片田教授は振り返った。

毎年日本のどこかで大災害が発生し、人が亡くなる。誰もが迷わず憂いなく避難するにはどうしたら良いか?